



Midori Information

「みどり通信」は、熊本
県農村振興局や市区町
村、水土里ネットなどの職
員の皆さんに、農業・農村
に関する様々な情報をお届け
するものです。

Information

□巻頭言

熊本県土地改良事業団体連合会

事業部長 久保 洋司

Topics

熊本県からの情報

□保全管理に関するシンポジウム

水土里ネット熊本からの情報

□森林の学校 in あさぎりの開催

□田んぼの学校 in 白川中流域の開催

□イオンモールイベント「熊本の棚田を知ろう！」の開催

□本会の内定式

Event

□「田んぼダム」新聞広告が2024熊日広告賞を受賞

□第2回 通潤橋講演会について

Magazine

□「進藤金日子メールマガジン」VOL.88

□「宮崎雅夫メールマガジン」VOL.61

今回は最後に前回のアンケート結果があります！
ご協力して下さった皆様ありがとうございました！

Since 2013~

9月から10月迄の2か月間、職員5名を常時2名の体制で石川県志賀町役場へ派遣し復興支援を実施しているところです。



熊本県土地改良事業団体連合会
事業部長 久保 洋司

水

土里ネット熊本の事業部の久保です。

会員の皆様におかれましては、まずまずご健勝のこととお慶び申し上げます。また、日頃より本会に対しまして格別のご理解とご支援を賜り厚く御礼申し上げます。

厳しい暑さが続いた9月ではありましたが、ここに来てようやく朝夕は過ごしやすくなつてまいりました。9月の熊本市の最高気温の平均は34.3度で、これまでで最も高かった2007年の記録を上回り観測が始まった1890年以降、過去最高を記録しました。

この記録的な猛暑の影響もあり、近所の畑では、農作物に高温障害がみられるなど、地球温暖化が進み異常気象が進んでいることを実感するとともに、今後は高温環境に適応した栽培体系への転換が喫緊の課題であると考えさせられました。

最近の気候は、気温の高さ、雨の降り方がこれまでとは異なり、線状降水帯の発生、台風の大規模化などにより自然災害が発生するリスクが高くなっています。常日頃より自然災害への備えや対策など準備をしておくことが重要です。

会員の皆様方には、日常点検や定期点検など土地改良施設の適切な維持管理により施設の機能確保と農村地域の防災・減災、国土強靱化が図れるよう引き続きお願いいたします。

本

会では、令和6年能登半島地震に伴う災害復旧支援を、9月から10月迄の2か月間、職員5名を常時2名の体制で石川県志賀町役場へ派遣し

復興支援を実施しているところです。地域の特性や課題に合わせた支援策を講じて、現地確認から査定設計書作成まで行っています。

町の職員は避難所の対応や、罹災証明書等の発行、生活支援に係る対応に追われているため、他県からの派遣者が災害復旧を実施している状況です。

今後も、熊本地震や令和2年豪雨災害等で培った経験を活かし被災地支援を引き続き行つてまいります。県内での災害発生時にも迅速な初動が可能となる最新機器の導入やICT技術の活用、人材の育成などソフト・ハード面の充実を図り将来を見据え、きめ細やかな会員支援へ繋げていくこととしています。

最

後に、先日家の中の片づけをしていました。古い本の整理をと思い数十年前ぶりに本棚を開けたら、福沢諭吉の「学問のすすめ」の現代語訳に目が留まり、誰が置いたのかと不思議に思

い、開くと、「天は人の上に人を造らず人
の下に人を造らず」との始まりに有名すぎ
る懐かしい感じがして、さらに読んでいく
うちに、「進まざる者は必ず退き退かざるも
のは必ず進む」に目が留まりました。

「現状維持は衰退するだけ、挑み続けさえ
すれば必ず良くなる。」

「諦めないでやり続けることは必ず何らか
の結果を返してくれる。」

失敗を恐れずに「努力することの大切

さ」「挑戦することの大切さ」を福沢諭吉さ
んはこの名言で教えてくれています。

いつも言われている言葉だなと思いながら
……。

しも、百年以上も前の社会のこと
なのに、福沢諭吉が大切にしてい

たことが、現代社会においても共
通することに驚きました。さらに、志を高
く持つて頑張ることが大切であると再認識
させられました。

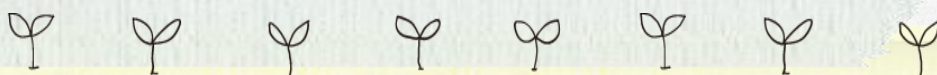
たまには、携帯電話を触るだけではな
く、読書もいいなと感じた日でした。

皆様も秋の夜長にゆっくりと読書でもど
うですか？いつもと違う発見があるかもし
れません。

それでは皆様、季節の変わり目ですの
で、体調を崩されませんようご自愛して頂
き、皆様のご健勝を祈念しご挨拶とさせて
いただきます。

熊本県土地改良事業団体連合会

事業部長 久保 洋司



01

令和6年9月25日(水)に東京都千代田区のシェンバッハサボで、**農業水利施設の保安全管理の在り方シンポジウム**が開催されました。

特別ゲストに**ギャル曾根氏**が招かれ、本会からは**会員支援課長の西**が参加いたしました。



農業水利施設の保安全管理の在り方シンポジウム

02

「**農業水利施設等の保安全管理の在り方検討会**」の中間取りまとめや、**先進的な取組事例**などの報告、農業水利施設の**適切な保安全管理の必要性**についてのトークも行われました。



農業水利施設の保安全管理の在り方シンポジウム

森林の学校 in あさぎり

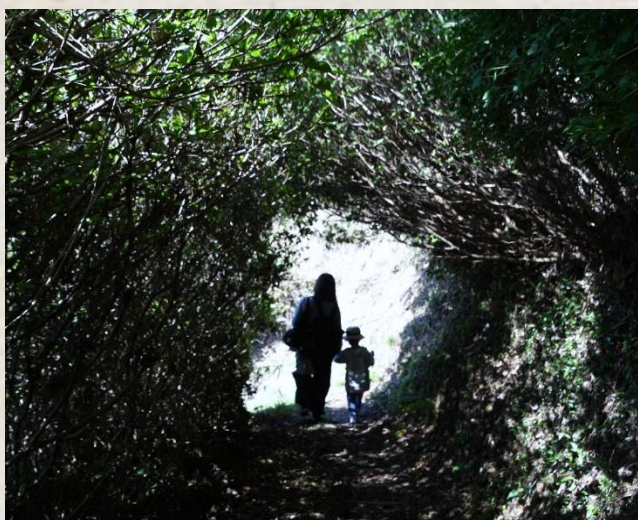


令和6年10月12日(土)に
あさぎり町で**森林の学校 in あ
さぎり**が開催されました。

ハイキングに**稲刈り体験**や
木工体験での**スツール作り**、**ミ
ニゲーム**など盛り沢山で充実
したイベントとなりました。

お昼は**新米のおにぎり**と沢山
のおかずが振舞われ、参加者の
子どもたちはその後に体験した
スツール作成やミニゲームなど
もとても楽しそうな様子でした。

とても実りあるイベントとな
りました。



水土里ネットからの情報



田んぼの学校 in 白川中流域



令和6年10月12日(土)
に大津町で**田んぼの学校 in 白川中流域**が開催されました。

今回は実際に鎌を使った**稲刈り体験**や、**千歯扱き**や**足踏み脱穀機**などの日本で昔使われていた農具の体験も行われました。

子供たちは初めて見る稲刈りや農機具を楽しそうに体験し、後半は**キャロッピー**と**からいもくん**も登場して参加者と記念撮影も行い、お昼には**新米のおにぎり**が振舞われました。



参加者たちは充実していた様子で「**農家さんの大変さが分かった**」、「**ご飯に感謝しながら食べたい**」等の感想を発表し、学びのある一日となったようです。



水土里ネットからの情報

イオンモールイベント「熊本の棚田を知ろう！」の開催

令和6年度9月28日(土)、
9月29日(日)にイオンモ
ールで「熊本の棚田を知ろ
う」が開催され、本会からも
田んぼダムのジオラマを出
展いたしました。



棚田マグネットや手作りの
リースなどのワークショッ
プや段ボール迷路、お米の
重さ当てなど、多くの来場
者が楽しく棚田について学
ぶ場となりました。



内定式



令和6年度10月1日に本会で令和7年度から新規採用となる内定者の内定式を行いました。



水土里ネットからの情報

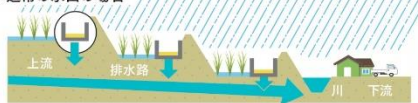
「田んぼダム」新聞広告が2024熊日広告賞を受賞

令和5年度に熊日へ掲載した「田んぼダム」新聞広告が2024熊日広告賞（奨励賞）を受賞しました！

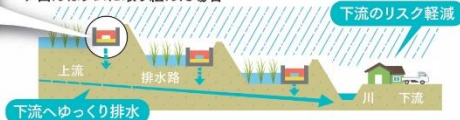
この贈賞式は令和6年10月29日に開催されます。



通常の水田の場合



田んぼダムに取り組んだ場合



下流へゆっくり排水

みんなの地域を田んぼで守ろう。 「田んぼダム」プロジェクト

田んぼダムって
何ですか？

「田んぼダム」は、田んぼに専用のせき板を取り付けるだけで、大雨のときは田んぼにたくさん水を貯め、雨の時間をかけてゆっくりと下流へ水を流します。このように、水田の持つ雨水を貯める機能を活用して、洪水の被害から地域を守る取り組みです。

農家が
地域を守り
田んぼを守る

農家の皆さんによって、田んぼがちゃんと維持され、農業が営まれていることで、田んぼダムに取り組むことが出来ます。農家の皆さんは、お米を育てるとともに、「田んぼダム」に必要の畦あぜや田んぼの水回りを管理しています。こうして田んぼを守ると、地域を守る田んぼダムが保たれています。

田んぼダムはもう
始まっています

農家の皆さんが自分たちで田んぼダムの取組みを広

めはじめています。人吉・球磨地域では、農家同士で勉強会をしたり、農家同士で勉強会をしたり、農家同士で勉強会をしたり...

もう一つ、小学校で協力して体験学習をしたり、福祉施設と協力してせき板を製作してもらっています。



田んぼダムの取組みの様子

みんなで支える
田んぼダム

「田んぼダム」には、もったくさんや人々が参加できます。市町村や地域の住民、企業、学校、様々な団体が参加して、地域全体で取り組むことによって、大きな効果を発揮します。ぜひ、みなさんも、田んぼダムの取組みを支えてください。

もっと知りたい方は
こちらから



農村計画課のページにリンク



熊本市立第一小学校



熊本市立第一小学校

田んぼダム 熊本

【お問い合わせ先】熊本市農林水産部農村計画課 熊本市熊本市中央区水前寺4丁目18番1号 Tel: 096-333-2406

田んぼダム ~その取組みが地域を守る~

熊本市からの情報

第2回 通潤橋講演会について

令和6年10月26
日(土)に第2回 通
潤橋講演会が開催
されます。

通潤橋“国宝”指定記念 講演会 第2弾 構造・技術 × 歴史

“近世石橋の傑作” 通潤橋を生んだ技術と地域社会



参加費
無料

日時：令和6年10月26日(土) 午後1時～午後5時

場所：矢部保健福祉センター 千寿苑

▶ 講演①「通潤橋の構造特性を探る」 山尾 敏孝 先生 (熊本大学名誉教授)

▶ 講演②「反りとアーチの巨大石橋 通潤橋」 北垣 聡一郎 先生
(石川県金沢城調査研究所 名誉所長)

▶ 講演③「通潤橋を生んだ熊本藩政と地域社会」 今村 直樹 先生
(熊本大学永青文庫研究センター 准教授)

【講演会への参加申し込み】

・教育委員会へ電話
0967-72-0443
・QRコードから申し込み →



〈主催〉山都町教育委員会

石橋づくりにチャレンジ ワークショップ in やまと
同日、10時～12時

通潤橋が見えるトイレ前で実施されています。

参加費 500円 <主催>:(株)やまと

問い合わせ先:080-1741-6971

熊本県からの情報

リンク一覧



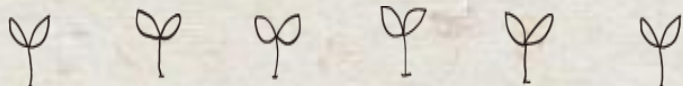
- 水土里ネット熊本平野南部
<https://kumamotoheiya.com/>
- 水土里ネット熊本市西南ホームページ
<http://midorinet-km.jp/>
- 水土里ネット小川フェイスブックページ
<https://www.facebook.com/小川町土地改良区水土里ネット-おがわ-979064688835896/>
- 水土里ネット美里ホームページ
<http://misato-midori.net/>
- 水土里ネット玉名平野ホームページ
<http://www.tamana-heiya.jp/>
- 水土里ネットおおきくホームページ
<http://ookiku.jp/>



県内水土里ネットホームページ、ブログ、フェイスブック一覧や最新のブログ等の更新状況をご紹介します。



- 水土里ネット一の宮ホームページ
<http://www.aso.ne.jp/~itidokai/top.html>
- 水土里ネット阿蘇ホームページ
<http://www.aso.ne.jp/~aso-toti/>
- 水土里ネット八代平野北部ホームページ
<http://yatsushiro-heiya.jp/>
- 水土里ネット百太郎溝フェイスブックページ
水土里ネット百太郎溝（百太郎溝土地改良区） | Yamae-mura Kuma-gun Kumamoto | Facebook
- 水土里ネット幸野溝ホームページ
<http://www.kounomizo.jp/>



その他

水士里ネト熊本

(熊本県土地改良事業団体連合会)

総務企画課 企画広報係

豊住 茉奈 (とよずみ まな)

Tel : 096-348-8801

Fax : 096-348-8011

Mail : toyozeni-ma@higosanae.or.jp

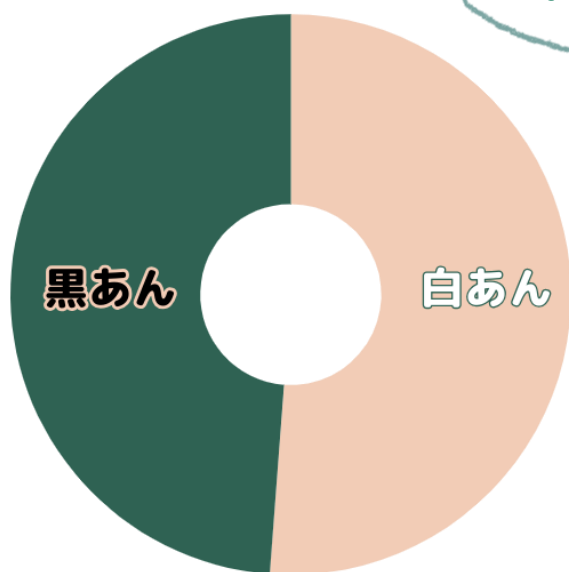
<https://www.higosanae.or.jp>

「みどり通信」で紹介してほしいイベントやホームページ、ブログなどがあれば、ぜひ本会まで気軽にご連絡ください。配信先のメールアドレス変更等は、下記まで宜しくお願いします。

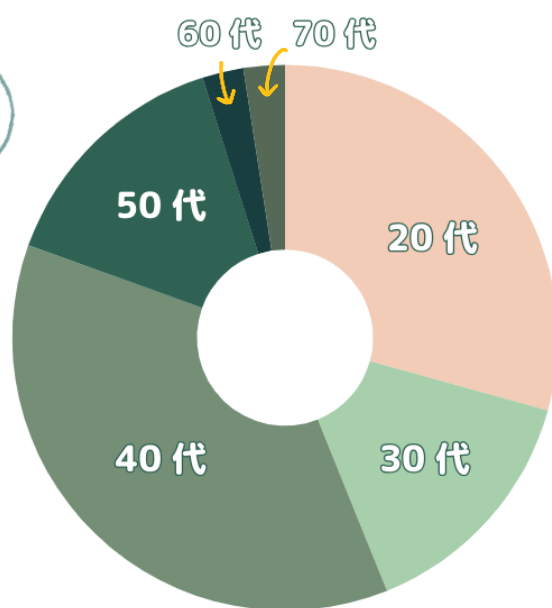
サイトのQRはこちら



【あなたは黒あん派？白あん派？】結果発表



白あん (51.2) 黒あん (48.8)



20代 (29.3) 30代 (14.6) 40代 (36.6)
50代 (14.6) 60代 (2.45) 70代 (2.45)

皆様のご協力ありがとうございました！

